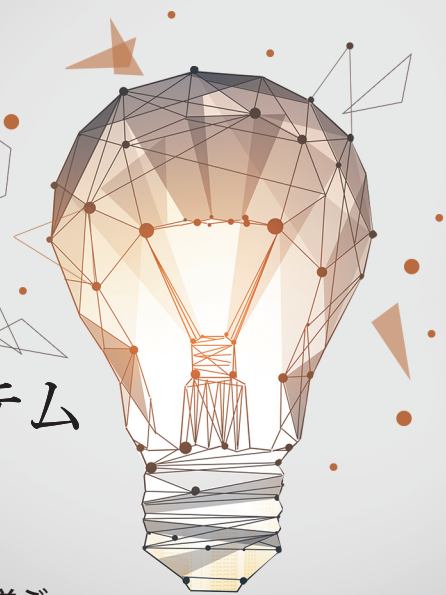


# IMSAP スタジオ

2021年 春コース(第3期)

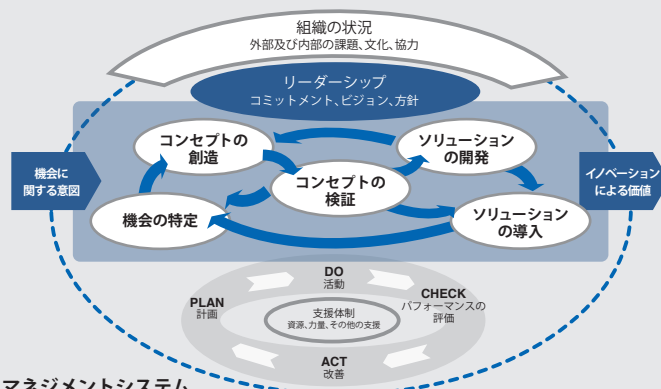
## イノベーション・ マネジメントシステム 学習プログラム

ISO56000シリーズと世界の動向に学ぶ



「本業を持つ組織からイノベーションを起こしづらい」のは、世界各国の企業の共通の悩みです。既存事業の慣習や経営の常識が、イノベーション活動を阻害するからです。そのような悩みを抱えた国が59カ国集まり、イノベーション・マネジメントシステム(IMS)の国際規格、ISO56000シリーズが2019年に発行されました。規格づくりに日本を代表して最初から参画している一般社団法人 Japan Innovation Network が提供する、日本初のIMS実践者向けの入門プログラムです。

右図は国際規格(ISO56002)で定められたイノベーション・マネジメントシステム(IMS)の骨格です。IMSとは継続的なイノベーションに求められる「経営のOS」です。オペレーション(モノづくりとカイゼン)に最適化された経営OSのまま、デザイン思考などの「イノベーションのためのアプリ」を導入しても、期待した成果は生まれません。「古い経営OSの刷新」が、今、日本企業に求められています。



ISO56002:イノベーション・マネジメントシステム

### スタジオの目的と提供価値

世界最先端のイノベーション・マネジメントシステム(IMS)の知を習得し、実践する覚悟を決める

#### 世界最先端の知を得る

ISO56000シリーズに基づき、IMSの要素とあり方を体系的に習得する

#### IMS 導入準備

担当役員の合意獲得を含む、IMS導入・実践に向けた道筋を立てる

#### チーム構築

各社3-5名で参加し、IMS導入・実践の中核となるチームを構築する

#### IMS コミュニティ参画

IMS実践をめざす他企業のリーダーや専門家を含むIMSプロフェッショナルのコミュニティの一員となる

### 参加をおすすめする企業

- イノベーション・マネジメントシステムの実践を検討している
- 様々なイノベーション手法に取り組んでいるものの、成果が出ず苦労している
- イノベーションの必要性は理解しているが、何から着手すべきか苦慮している
- イノベーション推進人材の育成が急務と考えている
- ISO56002 規格を読んでみたものの、その意味合いが十分に理解できない

## スタジオの基本構成と価格

IMSAPスタジオは、動画学習、対話セッション、自社議論により構成されます。ISO56002規格の詳細を動画コンテンツで学習し、対話セッションで他社の参加者およびJIN専門家と議論し、理解を深めます。その後、自社チームで自社の状況把握、IMS導入準備に向けた準備を進めます。



### 動画学習

- IMSの基本的考え方と国際規格 (ISO56002) の全体像および各章の詳細を20分×10本の動画で学習
  - ISO56002 制定に参画した西口 (JIN 代表理事) による解説を動画化
  - 参加者は都合の良い時間に視聴
  - 出された課題を事前検討して、対話セッションに臨む
- ※規格を事前に購入し、手元にあることを前提に実施



### 対話セッション

- 2時間×5回のオンライン・セッションに複数企業の参加者が集合
  - JIN 解説陣との対話や解説を通じ、規格の深い理解と自社適用のヒントを得る
  - IMS実践を志す参加企業のネットワークや相互学習の機会が実践に向けた取組を加速
  - 先進企業へオンライン・ベンチマーキング実施
- ※オンライン (zoom) での実施を基本とするが、covid-19 の状況次第では対面の場を設定



### 自社議論

- 対話セッションで学んだことをもとに、自社実践に向けた適用のポイントや現状の課題を議論
  - 議論を通じて IMS立上げに向けた自社チームを構築
- ※自社議論のテーマはスタジオにより提供されますが、議論の実施は各社に委ねられる

価格: 100 万円 (消費税込)

## 参加条件

- 自社のIMS 導入・実践に熱意あるリーダーの存在 (役職は問いません)
- IMS 検討・推進に関わる3-5名による参加 (活動を通じてチームを構築します)
- IMS 導入・推進を支援する役員の存在 (不在の場合、活動期間中に探していただきます)

## 活動予定 (プログラムは変更されることがあります)



### 動画学習



### 対話セッション

### プログラム責任者

#### 1. IMS の基本 2. ISO56002 概要解説

第1回 2021年5月26日(水) 15:00-17:00

- ・なぜイノベーションにマネジメントシステムが必要なのかを理解する
- ・IMSの全体像を理解する
- ・国際規格ができたことの意味合いを理解する

#### 3-4. イノベーション活動 (8章) ・活動の計画 ・機会の特定 ・コンセプトの創造と検証 ・ソリューションの開発と導入

第2回 2021年6月9日(水) 15:00-17:00

- ・イノベーション活動のプロセスのあり方を理解する

#### 5-6. 支援体制の確立 (7章) ・経営資源の概論と人材 ・時間と知識のマネジメント ・財務とインフラ ・力量のマネジメント ・認知度、コミュニケーションと文書化情報 ・ツール、方法と知財のマネジメント

第3回 2021年6月30日(水) 15:00-17:00

- ・支援体制の重要性と経営資源の投入のあり方を考える

#### 7. 組織の現状 (4章) ・組織状況の理解 ・利害関係者のニーズと期待 8. リーダーシップの重要性 (5章) ・リーダーシップコミットメント・ビジョンとイノベーション戦略 9. 計画策定 (6章) ・機会とリスクを明らかにする・目的と達成に向けた計画の策定

第4回 2021年7月28日(水) 15:00-17:00

- ・自社の現状を把握する
- ・リーダーシップの重要性を理解する
- ・イノベーション活動の計画策定の重要性を理解する

#### 10. 評価と改善 (9 / 10章) ・測定 / 分析 / 評価および内部監査 ・マネジメントレビューと改善

第5回 2021年8月26日(木) 15:00-17:00

- ・イノベーション活動を評価し、改善に繋げていく
- ・これまで学んだ内容を踏まえ、改めてIMSの全体像を考える
- ・自社でIMS 実践を進めるために



#### 紺野 登

一般社団法人  
Japan Innovation Network  
Chairperson 理事

組織や社会のナレッジ・エコロジー (知の生態学) をテーマに、知識経営、場の経営、ワークプレイス・デザイン、都市開発プロジェクトやデザイン戦略プロジェクトの研究・実務に携わる。多摩大学大学院教授、エコスラボ代表、一般社団法人 Future Center Alliance Japan 代表などを務める。主な著書に『構想力の方法論』(野中郁次郎共著) など。



#### 西口 尚宏

一般社団法人  
Japan Innovation Network  
代表理事

大企業からイノベーションは興らないという定説を覆す活動に注力。2015年からISO56000シリーズの策定に日本代表のエキスパートとして原案作り携わる。スウェーデン国立研究所 (RISE) 認定イノベーション・マネジメント・プロフェッショナル。日本長期信用銀行、世界銀行グループ、マース社ワールドワイドパートナー、産業革新機構執行役員などを経て現職。主な著書に『イノベーターになる』(紺野登共著) など。

お問い合わせ  
お申し込み先:



ims@ji-network.org

一般社団法人 Japan Innovation Network

〒100-0011 東京都千代田区内幸町 1-1-1 帝国ホテルタワー 8 階  
Tel. 03-5510-7188 https://ji-network.org

